

音楽芸能スタッフ科 照明コース
2年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅱ	68	2	4
講義	PC知識Ⅱ	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識Ⅱ	68	2	4
実習	イクイップメントⅡ	68	2	2
実習	照明Ⅱ	68	2	2
実習	CADⅡ	68	2	2
実習	デザインⅡ	68	2	2
演習	スタッフワーク基礎Ⅱ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅱ	68	2	4
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
合計		888	26	42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。 ②具体的にはビジネスマナーの基本である第一印象、あいさつ、みだしなみ、態度、ことばづかい、話し方・聞き方、ビジネス文書、来客対応、仕事の進め方、食事のマナー、日本のしきたりまで学習する。 ③就職活動に必要な、自己PR作成や立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。</p>					
到達目標					
<p>・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。 ・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることが出来る。 ・ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、就職内定を最終目標とする。</p>					

対策	
【前期】 1～3回目	・就職面接対策 ・筆記対策
【前期】 4～7回目	・マナーの基本(第一印象、あいさつ、身だしなみ、態度、表情、姿勢)復習 ・敬語(尊敬語、謙譲語、丁寧語、クッション言葉、間違いやすい敬語)復習
【前期】 8～10回目	・コミュニケーション(聞き方・話し方、接客の言葉遣い、お客さま心理の理解)
【前期】 11～13回目	・ビジネスマナー①(ビジネスマナーの意義、来客対応、訪問のマナー、電話応対)
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。接遇の基本、言葉遣いなどに関わる知識や技能を問う。
【後期】 18～20回目	・ビジネスマナー②(ビジネス文書、ビジネスメール、指示の受け方・報告のしかた)
【後期】 21～24回目	・日本のしきたり①(冠婚葬祭のマナー、年中行事、贈り物のマナー)
【後期】 25～27回目	・日本のしきたり②(食事のマナー「和食・洋食・中華」、お酒のマナー)
【後期】 28～30回目	・社会人としての心構え(企業人としての必要要素、職場のルールとマナー、環境設備、ストレス対策)
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。オフィスワーク、日本のしきたりなどに関わる知識や技能を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	会社のしくみを学び、仕事の基本を知ることはこれから社会に出るみなさんにとって大きな自信につながります。「企業は人なり」と言われるように社員のちょっとした言葉や行動が会社の印象に関わるからこそビジネスマナーが大切です。あらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり習得します。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台照明技術史		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。				
授業概要					
「現代照明の足跡」を教材として使用しながら、時代の波、変化の渦の中、舞台照明を開拓し、道を切り開いてこられた照明家 遠山静雄氏、小川昇氏、松崎國雄氏、篠木佐夫氏、穴澤喜美男氏、大庭三郎氏、相馬清恒氏という7人の照明家の方々にスポットライトを当て、主に舞台照明における灯体や調光卓などの機材が時代とともにどのような進化を遂げてきたか、会場規模の巨大かによる変化やLEDやDMXなどのデジタル技術の進歩などについて学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明の歴史を辿り現代の照明のあり方を考え、理解を深める。 ・舞台照明に関する知識を確認、理解する。 ・エンターテインメントにおける照明の必要性を深く知る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 昭和初期～後期の仕込図やキューシート、舞台施設解説。
【前期】 4～7回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 遠山静雄氏に関して。
【前期】 8～10回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 小川昇氏に関して。
【前期】 11～13回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 相馬清恒氏に関して。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期授業内容から抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身についているかを問う。
【後期】 18～20回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 松崎國雄氏に関して。
【後期】 21～24回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 篠木佐夫氏に関して。
【後期】 25～27回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 穴澤喜美男氏に関して。
【後期】 28～30回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 大庭三郎氏に関して。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期授業内容より抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身についているかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	日本の舞台照明は1900年頃から「電気」が導入されたことによって大きな変化が始まったのですが、第二次世界大戦前後は日本の舞台照明は現代照明に向け、めざましい発展を遂げました。この講義を通じて、過去と現代の照明に関しての時代の歩みを理解することができます。
備考	教材として「現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たち」を使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	空間デザイン		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	音楽系として北九州ロックフェス、10神アクター、FREAK、などのLIVEを担当、スポーツ系としてB1長崎ヴェルカ、J1サガン鳥栖、アビスパ福岡、F1ボルクパレット北九州 Vリーグカノアラウレアーズ福岡などの空間演出を担当、その他にもClubやラウンジ、結婚式場、ホテル等の空間をプロデュース				
授業概要	SNS等で海外の動画を調べて学び、実際の現場で使えるようにイメージができるようにイメージネーションを身につける。仕込み図等を見せながら説明をし、イメージできるようになる。照明だけではなく、他のセクションの知識も伝えて総合的な空間がイメージができるようになる事を目指す。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現場に役立つようなイメージ、アイデアを養えるようになる。 ・照明以外のセクションの知識を得る事により、さらに付加価値がある照明デザインをイメージできるようになる。 ・海外を意識したの照明デザインのイメージができるようになる。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎知識① 照明デザインについて
【前期】 4～7回目	基礎知識② レーザー演出
【前期】 8～10回目	基礎知識③ VJ演出(プロジェクションマッピングも含む)
【前期】 11～13回目	基礎知識④ club系の音楽等
【前期】 14～17回目	基礎知識⑤ファッションショー等の照明デザイン
【後期】 18～20回目	テクニカル基礎①LED映像システム等
【後期】 21～24回目	テクニカル基礎②配信系(撮影系の照明デザイン)
【後期】 25～27回目	総合①空間演出
【後期】 28～30回目	総合②空間演出
【後期】 31～34回目	復習・まとめ
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	みなさんが目指す世界に付加価値をつけていく授業になります。楽しく最高の空間を創っていける人材になっていただけるよう全力で組み立てていきます！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/照明コース/ローディーコース/				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
この講義では、音楽業界(PA.照明.ローディーコース)に特化したMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)ソフトウェアの概要と応用的な使いかたを学ぶ。					
到達目標					
<p>・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。</p> <p>・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどである。したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	歌詞作り(タイピングの練習)(Word、PowerPoint)
【前期】 4～7回目	ショートカットキーの応用
【前期】 8～10回目	ステージプロット・タイムテーブル作成(Excel)
【前期】 11～13回目	スケジュール・セットリスト作成(Excel)
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	トラックの積み込み図作成
【後期】 21～24回目	スケジュール作成
【後期】 25～27回目	台本作成
【後期】 28～30回目	請求書・見積書作成
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、業界を問わず世界中のビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。この講義を受講することで、仕事をする上で欠かせないパソコンによる文書作成ノウハウを身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明システムに関する 講義を行う。				
授業概要					
<p>①照明に関する専門用語、舞台構造及び会場設備や光や色の特性などに関する応用知識を学ぶ。 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・現場での作業を想定した講義を行う。</p> <p>・オペレートの授業と連動した講義をしつつ1年次から更にプロとして通用する技術へと落とし込む。</p> <p>・目標として照明企業から即戦力として評価されるような人材育成を目指し、知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	仕込み作業の段取り、流れの説明①
【前期】 4～7回目	仕込み作業の段取り、流れの説明②
【前期】 8～10回目	シュート作業についての発展的理解①
【前期】 11～13回目	シュート作業についての発展的理解②
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	ピンスポットの構造説明。
【後期】 21～24回目	課題曲を使ったピンスポットキューの作成。
【後期】 25～27回目	ピンスポットのキューの実践シミュレーション。
【後期】 28～30回目	試験対策 授業内容の確認。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	現場での作業を想定した講義を行います。目標として照明会社から即戦力として評価されるような人材育成を目指し学習を進めます。
備考	講師作成のプリント資料を授業毎に配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システムⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	イクイップメントⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明システムに関する 講義を行う。				
授業概要	<p>①電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。</p> <p>②総合的に照明のシステム構造を深く理解する事で、高度なオペレート技術の向上にも反映していく。</p>				
到達目標	<p>照明操作卓から灯具への信号を確認し、灯具の動作確認・点灯確認までできること。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	EMYホールの照明システムを確認 ステージライティング①
【前期】 4～7回目	EMYホールの照明システムを確認 ステージライティング②
【前期】 8～10回目	EMYホールの照明システム全変更 シュート作業①
【前期】 11～13回目	EMYホールの照明システム全変更 シュート作業②
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習①
【後期】 21～24回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習②
【後期】 25～27回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習③
【後期】 28～30回目	総復習。1年次からの照明知識及び照明スキルの確認。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明システムをしっかりと理解して仕込みができるようになりましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	照明Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。□				
授業概要					
<p>①電源の入れ方やパッチの手順などの応用操作、並びにチェイスやストロボなど様々な発展的機能を学び、メインコンソールの高度なオペレート技術を身につける。</p> <p>②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての発展的な技術も同時に学んでいく。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ内容から発展したプロとして通用する知識及び技術を習得する。 ・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。 ・知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。 ・照明関連企業が求める新人照明オペレーターに出来るだけ近づけるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	仕込み作業の段取り、流れの応用実践①
【前期】 4～7回目	仕込み作業の段取り、流れの応用実践②
【前期】 8～10回目	シュート作業応用①
【前期】 11～13回目	シュート作業応用②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。現場を意識した、プロを意識した仕込みから、シュート作業を問う。
【後期】 18～20回目	ピンスポットの組み立て。
【後期】 21～24回目	ピンスポットの応用練習。
【後期】 25～27回目	ピンスポットのキュー作成応用。
【後期】 28～30回目	後期試験対策・総復習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を設定して、ピンスポットのキューを作成し、「操作」「正確性」を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /操作/正確性/機敏性」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	とにかく機材を触って照明を楽しみましょう。あとは、やってみたい灯りを作って音楽に合わせて灯りを出して楽しみましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CADⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かしCADオペレートの実技を行う。				
授業概要					
<p>①建築やデザインなどの業界で広く使用されているCADソフト「Vectorworks」の応用操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の制作を行う。</p> <p>②実際に様々なイベントの仕込み図を制作し、各シチュエーションにおける発展的な制作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。</p>					
到達目標					
<p>・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成し、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。</p> <p>・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各コマンドの説明と練習。
【前期】 4～7回目	レイヤー、クラス概念の説明とそれぞれを行き来した作図練習①
【前期】 8～10回目	レイヤー、クラス概念の説明とそれぞれを行き来した作図練習②
【前期】 11～13回目	与えられた課題を図面に落とし仕込み図を作成
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	コマンド習得。
【後期】 21～24回目	照明機材などのテンプレート作成①
【後期】 25～27回目	照明機材などのテンプレート作成②
【後期】 28～30回目	仕込み図の作成。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分で照明図面を作成して、仕込み図面の見方を把握して現場でも役立てるよう図面は命。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	色彩デザインⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザインⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。また、照明エンジニアの経験も活かしたアプローチを得意とする。				
授業概要	配色の専門的な考え方や色彩の心理的効果などを学び、照明として必要な色彩に関する応用的な知識を身につける。				
到達目標	・カリキュラム終了時には色彩デザインの専門的なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るような応用的なデザイン能力、操作能力を習得する。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	カラーフィルターの復習(色見本を再確認しながら)①
【前期】 4～7回目	カラーフィルターの発展&作業① 就職をふまえた発展学習
【前期】 8～10回目	カラーフィルターの発展&作業②□
【前期】 11～13回目	実際の機材でのカラーフィルターの活用 ①
【前期】 14～17回目	■前期試験:現場での作業手順を質問化して筆記試験。
【後期】 18～20回目	定番機材と新機材の色表現の違いについて①
【後期】 21～24回目	定番機材と新機材の色表現の違いについて②
【後期】 25～27回目	CMYカラーの理論からCMYを意識しない発展した色理解
【後期】 28～30回目	現場に出るにあたっての最終確認&現場を想定した質疑。□
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	色の意味や印象を理解することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社でコンサート照明業務に従事。コンサートにおける機材の設営、撤去、ピンスポットなどの本番オペレートを担当。現在はフリーランスとして活動中				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、シュート、照明調整、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの照明セッティングの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、イベント制作コースを中心に企画会議を行い、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【前期】 11～13回目	前期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【後期】 28～30回目	後期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する
学生へのメッセージ	現場で想定される一連の流れからトラブル対応なども実践をととして、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけましょう。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <input type="checkbox"/> 該当 ■ <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社でコンサート照明業務に従事。コンサートにおける機材の設営、撤去、ピンスポットなどの本番オペレートを担当。現在はフリーランスとして活動中				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、シュート、照明調整、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの照明セッティングの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、イベント制作コースを中心に企画会議を行い、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【前期】 11～13回目	前期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【後期】 28～30回目	後期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する
学生へのメッセージ	現場で想定される一連の流れからトラブル対応なども実践をととして、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけましょう。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権の権利の内容を理解する 著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成 & 提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リカーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。